

# 伝統的空間(こみせ等)維持のための収益利用方策の地域外を含めた提案募集による検討等

## <調査概要>

■調査実施地域:青森県黒石市

■調査実施者:黒石市

- ・「こみせ」と呼ばれる庇状の屋根を持った歩行者通路を伝統的なままに維持している地域とそれがほぼ消失している地域において、維持管理負担の軽減やその再生について収益利用を前提としたアイデアをコンペ方式で幅広く募り、選定した優秀なアイデアを市民向けのシンポジウムや「こみせ」所有者等のヒアリングにおいて説明し、地域内での議論が活性化できるかを検証する調査を実施。
- ・この検証の結果、市民の期待の高まりは感じられたが、こみせ所有者等の意識向上には直接つながらないことがわかり、これを解決するためにはアイデアのさらなる工夫や地域外からの支援などの活性化方策の検討が必要となることがわかった。



■伝統的なこみせが残る中町



■こみせがほぼ失われている横町

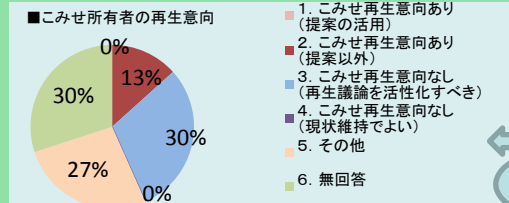
## <調査内容>

### ■コンペ方式による提案募集

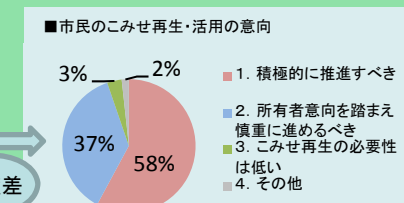
- ・作品提出30件から優秀5作品を選定(専門家・地元代表者による審査)



### ■こみせ所有者ヒアリング



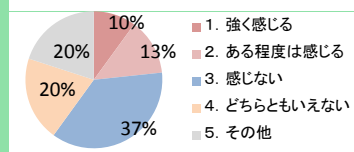
### ■景観シンポジウム



温度差

○収益利用は、中町では、こみせを活用した収益利用意向は低く、総じて現状維持を望むが、横町では空き地等を活用したこみせ再生の意向が高い

### ■景観まちづくりの機運の高まり



- ・こみせ再生意向ありが13%
- ・景観まちづくり機運の高まりを感じる23%



■景観シンポジウム ■地元紙の特集記事

- ・多数の市民が参加
- ・地元紙の特集記事を掲載
- ・こみせ再生の積極的な推進が58%

### ■収益利用のアイデアのさらなる工夫

- 把握できたこと
  - ・中町はこみせ活用の意識は低い(伝統的な景観維持を優先)
  - ・横町は空き地や空き店舗を活用し、こみせを再生する意向が強い

- 課題
  - ・こみせの活用・再生には自動車利用とのすり合わせの技術的な解決の検討が必要

- 今後の展望・取組
  - ・中町は、こみせ空間は現状を維持し、景観と調和したものを実験。
  - ・横町は、空き地等の活用(例:無人販売所)と、こみせの再生手法の検討。自動車利用が可能なこみせ形態の設計。



■こみせ再生のモデル候補地(中町) ■こみせ活用・再生モデルの検討候補地(横町)

### ■地域内議論の活性化方策

- 把握できたこと
  - ・市民や外部の期待の高まり
  - ・こみせ所有者等の意識の高まりは途上(高齢化や後継者不足等)

- 課題
  - ・地域住民の意欲の向上

- 今後の展望・取組
  - ・意欲の高い一部住民と連携し、こみせの活用・再生モデルの実施
  - ・こみせ再生活動の場づくり
  - ・市民を取り込み、活動を支援する仕組みづくり